

利用・用途・応用分野

神経変性疾患全般に対する治療薬、神経変性疾患の予防

目的・課題

日本をはじめとした先進国では高齢化社会を迎え、神経変性疾患を根治する薬剤の開発が切望されている。  
アルツハイマー病や前頭側頭型認知症等に大きく関与する軸索に着目し、軸索を伸展することが可能な薬剤を提供することが課題である

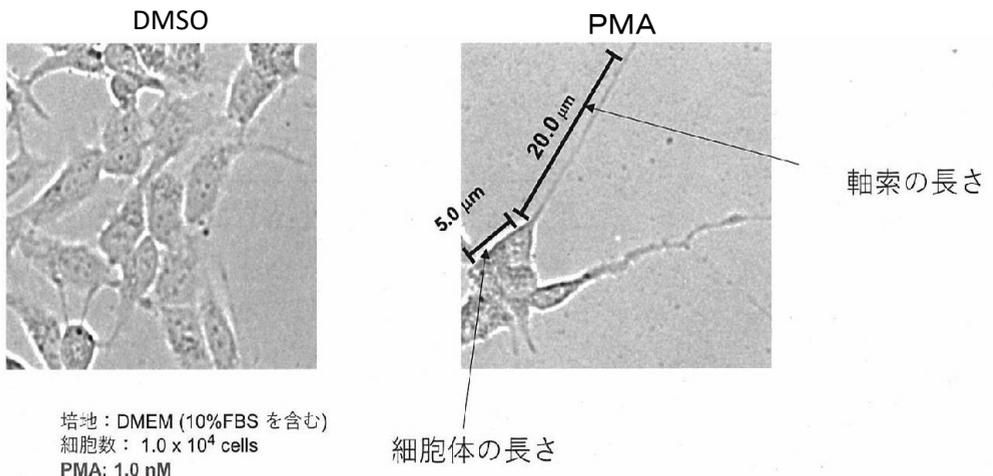
解決ポイント

ホルボールエステルを有効成分とする軸索の伸展剤を作製する。  
ホルボールエステルが、ホルボール12-ミリスタート13-アセタート又は、ホルボール12, 13-ジブチレートであることが好ましい。

研究概要・アピールポイント

- ◆ホルボールエステルであるPMA(ホルボール12-ミリスタート13-アセタート)が軸索を大幅に伸展させる効果がある。
- ◆正常神経細胞に限らず、変性タウタンパク質が細胞内に生じている異常な軸索突起も、正常神経細胞と同じレベルまで伸展させる。
- ◆軸索を伸展させることにより、神経細胞の変性に起因する神経変性疾患の予防又は治療を行うことが可能となる。

【ホルボール12-ミリスタート13-アセタート(PMA)はヒト軸索を大きく伸展させる】



◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティールオー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp